

公益社団法人日本山岳会埼玉支部 8 月度（第 73 回）安全登山委員会報告

開催日：平成 28 年 9 月 6 日（火曜日） 18：30～20：30、 場所：野村クリニック 3 階
出席者（順不同・敬称略）：高橋努、松本敏夫、渡邊浩、宮川美知子（計 4 名）

【議事】

- 1、平成 28 年 12 月 7 日（水）高妻講師の講演会準備状況
会場となるさいたま市浦和コミュニティセンターの集会室予約は、9 月 1 日に申し込みをしたと手島委員から連絡あり。7 日に決定するので手島委員から宮川に報告とのこと。支部HPや山岳会会報などへはその後公開することとする。また、高妻委員の山小屋へ、8 月 28 日から 1 泊で、10 月の支部海外山行の高所順応登山もかねて、5～6 人のメンバーが訪問する予定であったが、台風のため中止した。チラシ印刷は、今までの業者に依頼することとなり、松本委員が担当することとした。講演会開催に当たり、県岳連の後援を依頼することになり、宮川が書類作成後、8 日に県岳連の理事会に出席する松本委員にメールで送付することとした。
- 2、平成 29 年 1 月 21 日（土）飯田講師講演会準備状況
会場は川鍋ビル 8 階が予約済み。受付は 13 時、講演は 13 時半から 17 時とした。講演テーマは「どの山でも登山届を出そう！いざという時にあなたを救う」とした。渡邊委員からチラシの中に登山届用紙のQRコード(二次元バーコード)を入れる提案があり検討することとした。毎年、後援を埼玉県教育委員会・埼玉新聞社・埼玉県山岳連盟・埼玉県勤労者山岳連盟に依頼しているので、書類を宮川が作成し、10 月の支部委員会にて印を押捺後に、各所に郵送することとした。
- 3、平成 29 年 2 月 26 日（日）恵講師と渡邊講師の講習会準備状況
講習テーマは「登山で事故！さあ どうする」とした。講習会は 20 名募集とし、午前は 9 時 30 分から 12 時 30 分に恵講師、午後は 13 時 30 分から 16 時 30 分に渡邊講師とし、中高年登山者のパーティーが山で事故に遭遇した際に、実施できるセルフレスキューを学び修得する内容として実施する。開催に当たり、県岳連の後援を依頼する予定。参加者には、後日、三角巾や伸縮包帯やガーゼなどの持参を呼びかける予定。
- 4、山でのハチやクマ対策について
山岳救助隊の飯田さんから松本委員に、この夏に山でハチに刺されて死亡したり、クマに襲われて負傷した登山者の報告があった。安全登山委員会としての対策が協議され、山行にはハチスプレーを持参することとし、クマ対策は、秩父にはクマが休むクマ穴が登山道わきに多くあり、安易に穴に近づいたり、穴を覗き込まないように注意喚起することとした。この注意喚起の情報を宮川が原稿作成し、10 月発行予定の支部報に掲載してもらうこととした。

次回の日程：平成 28 年 11 月 8 日（火曜日）18：30～ 場所：野村クリニック 3F（浦和）
10 月の定例委員会は休会とする。

宮川 記（2016, 9, 7）